

「大隅コミュニティ」プロジェクト ～学校・世代間を超えた力でまちに元気と笑顔を～

1 事業概要

大隅地区は少子高齢化が進んでおり、申良地域においても65歳以上の高齢者が約35%、15歳未満が約12%と数字で見ても顕著に表れている。そこで、高校生が他の高校や地域のあらゆる世代と連携して、コミュニケーションの場を創造し、魅力あふれるまち作りに力を注ぎ、みんなの生き甲斐や笑顔があふれるような取組ができないかと考えた。それゆえに、大隅におけるキャリア教育の実践を通して地域や社会に貢献できるスペシャリストの育成を目指し3つの柱を設定した。

- (1) 高校生が先生役（ハイスクールのチュードントティーチャー）となり、ビジネスの専門的な知識を小学生・中学生に教えて、向学心や探求心を育成し、学習した事を生かしながら小・中・高が連携して、世代を超えたビジネスに関する体験活動を実践した。
- (2) 平成24年度統合が決定した有明高校や行政に頼らない村おこしで有名な柳谷集落「やねだん」、さらに、地域の企業などと連携し、企画・生産（または製造）から販売までの一貫した地域素材を活かした流通ビジネスの6次産業化を目指した取組を実践した。
- (3) 平成24年度から連携を深めている「申良まちづくり戦略会議」「鹿児島大学」や地域団体と結びつきを持ちながら様々な調査研究を通して町おこしの一助となるような新たなコミュニティビジネスのあり方を研究した。

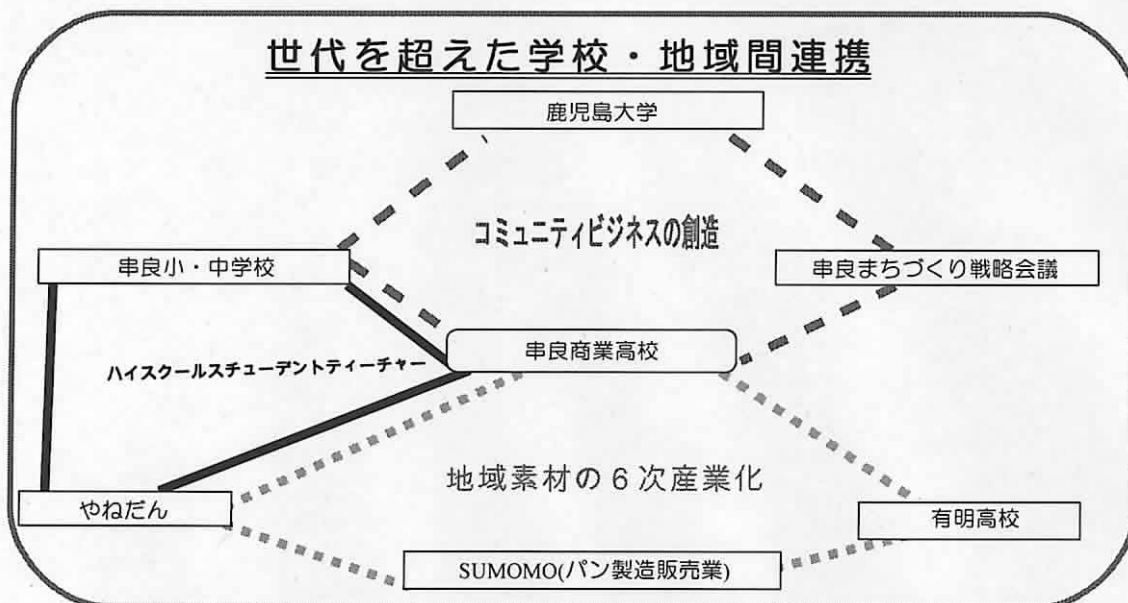


図1 事業イメージ

2 事業のねらい

(1) 学校間連携

平成24年度に串良商業高校と統合が決定した有明高校との連携により、生産から販売という流通ビジネスを通じた教育と地域貢献活動の実践、有明高校で生産される農産物や専門高校で取り組んでいる教育活動を効果的にアピールする。

(2) 学校・地域間連携

ア 学校

(ア) 串良小学校・串良中学校

同一地域にある小学校・中学校・高校が連携し、ビジネス活動を通じた小・中学生の社会参画とキャリア教育を実践することにより、児童・生徒の職業観の育成とともに、世代を超えた若い力で地域を盛り上げる。

(イ) 鹿児島大学

教授や学生からの「地域づくりやまちづくり」についての講話、地域課題の解決に向けての提案やイベント等への参加を通して、より専門的で実践的な知識や技術を学び、世代を超えた交流によりコミュニケーション能力の育成を目指す。

イ 地域

大隅地区（串良地域）における少子高齢化の現状を理解した上で、地域が元気になる活動や町おこしに参加、企画・連携を深めることにより、コミュニケーション能力の向上・プレゼンテーション能力の充実、地域社会に貢献できる人材や郷土愛を育成する。また、地域在住の専門家の指導により、ブランディングやマーケティングについての知識の深化を図る。

3 連携の概要

(1) 学校間連携

有明高校と連携し担当者会を開き、有明高校の農産物を利用した商品を共同で開発した。また、パッケージや広告を作成し、収穫した農産物を地域のイベントで効果的にPRしながら販売した。

(2) 学校・地域間連携

ア 学校

(ア) 串良小学校・串良中学校

本校生徒からビジネスの仕組みや情報処理について学習し、そこで習得した知識を生かして、地域のイベントで小中校生による合同販売活動を行った。

(イ) 鹿児島大学

コミュニティについて、職員研修を実施し、講話の内容から着想を得て、生徒が考案したコミュニティスポーツのプレ実践と検証を通してコミュニティの在り方を模索した。

イ 地域

(ア) やねだん

「やねだん」在住のプロフォトグラファーからブランディングやマーケティングの講義を受け理解を深める。また、生徒が考案した「SUMOMO」とのコラボレーションキャラクターや本校のマスコットキャラクターの編集を行い、実践的なビジネス活動の構築を目指した。

(イ) 串良まちづくり戦略会議

コミュニティスポーツの場所提供を受けて、道具の準備や後片付け、意見の検証、さらに、町おこしの共同企画や共同参加を行い、地域に根ざしたアクションプランの実現に努めた。

(ウ) SUMOMO (パン製造・販売業者)

本校の生徒が考案した商品のプレゼンテーションに基づき、商品化に向けて具体的な検討を行った。また、試作品の製造や指導助言を受けてオリジナル商品の開発に成功し、4種類の新商品を販売できたことは生徒による成功モデルとなった。

4 研究・取組の実際

(1) 活動経過

日	内 容	連 携 先
4 月		
12日	・プロジェクトメンバーへ概要説明	串良小学校, 串良中学校
17日	・串良小・串良中へ概要説明	
19日	・KJ法を活用した地域課題の分析	
22日	・有明高校へ概要説明	
5 月		
10日	・年間指導計画作成	有明高校教諭他
16日	・第1回担当者会(産業教育係指導主事参加)	
31日	・有明高校農産物の試食, キャッチコピー考案	
6 月		
4日	・串良総合支所で有明高校農産物販売	串良総合支所
7日	・商品開発を行う企業選定, 協力依頼	SUMOMO
8日	・商品開発を行うSUMOMOへ概要説明	SUMOMO
12日	・鹿児島大学金子満准教授による職員研修 コミュニティ, ソーシャルビジネスについて	鹿児島大学
14日	・SUMOMOのオーナー来校, 新商品のプレゼン	SUMOMO

21日	・ 串良小学校へアンケート調査実施	串良小学校
27日	・ 串良ふれあいセンターの合宿誘致チラシ作成	串良まちづくり戦略会議
28日	・ SUMOMOで第1回目のパン製造指導	SUMOMO
	・ 鹿児島大学金子准教授による生徒向けの講話 コミュニティスポーツのプレゼン提案	鹿児島大学
	・ パンの校内プレ販売会実施（27日製造分）	
	・ 購入者へのアンケート調査実施	
7月		
5日	・ 生徒商業研究発表会で本プロジェクトの概要 これまでの取組，今後の取組を発表	
10日	・ SUMOMOで第2回目のパン製造指導	SUMOMO
	・ パンの地区PTA（大崎会場）プレ販売会実施	
	・ 購入者へのアンケート調査実施	
12日	・ コミュニティスポーツの考案	
19日	・ 第2回担当者会	有明高校教諭
20日	・ 串良小学校6年生キャンプを実施 ○コミュニティスポーツのプレ実践 ○生徒考案の「陸上雪合戦」「弓当て」の検証	串良まちづくり戦略会議 鹿児島大学 串良小学校
8月		
1日	・ SUMOMOのオーナー来校，新商品の再プレゼン	SUMOMO
9日	・ 中学生対象「くしら塾」開催 串良まちづくり戦略会議・鹿児島大学へ考案 したコミュニティスポーツのプレゼン	串良まちづくり戦略会議 鹿児島大学
17日	・ SUMOMOで試作品製造，第1回新商品試作，検証	SUMOMO
22日	・ 小学生対象「くしら塾」開催 コミュニティスポーツプレ実践	串良まちづくり戦略会議 鹿児島大学
29日	・ SUMOMOで試作品製造，第2回新商品試作，検証	SUMOMO
9月		
13日	・ K J法を活用し，ルール考案 ・ ルールブックやプロモーションビデオ作成	
25日	・ ハイスクールスチューデントティーチャーに向 けてテキスト作成	
27日	・ 全校生徒にマスコットキャラクター募集	
29日	・ 応募総数65通の中からキャラクター選考 ・ SUMOMOで試作品製造，第3回新商品試作，検証	SUMOMO
10月		
2日	・ 串良小学校授業見学，パソコン活用能力調査	串良小学校
4日	・ 「やねだん」在住河野セイイチ氏講話	やねだん

	マーケティングやブランディングについて	
11日	・SUMOMOで試作品製造，第4回新商品試作，検証 ・串良中学校へアンケート調査実施	SUMOMO 串良中学校
18日	・SUMOMOで試作品製造，第5回新商品試作，検証	SUMOMO
25日	・SUMOMOへ試作品製造，第6回新商品試作，検証 ・オリジナル開発パン4種類完成，値段の決定	SUMOMO
30日	・ハイスクールスチューデントティーチャー 串良小学校6年生41名対象	串良小学校
11月		
1日	・文化祭 ○串良商業×SUMOMOのコラボレーションキャラクター発表 ○オリジナル開発パン110個限定第1弾販売会 ○パワーアッププロジェクト活動の軌跡展示 ○コミュニティスポーツのプロモーションビデオ放映	SUMOMO やねだん
3日	・指商デパート出店 第2弾パン販売会 ・かのやバラ祭り出店 第3弾パン販売会	SUMOMO
16日	・本校110周年記念式典 ○マスコットキャラクター紹介 ○マスコットキャラクターステッカー配布	SUMOMO やねだん
20日	・ハイスクールスチューデントティーチャー 串良中学校2年生42名対象	串良中学校
22日	・専門高校地区フェスタ 第4弾パン販売会	SUMOMO
23日	・串良黒土祭り出店 第5弾パン販売会 串良小・串良中・串良商業高校合同販売会	SUMOMO，有明高校，JA 串良小学校，串良中学校
24日	・かのや秋祭り出店 第6弾パン販売会	SUMOMO
29日	・販売分析・売上計算書・損益計算書の作成 販売活動の分析・検証・課題	
30日	・国際交流探訪 鹿児島市在住外国人60名接待	串良がんばる会 串良まちづくり戦略会議
12月		
1日	・豊栄橋イルミネーション点灯式	串良まちづくり戦略会議
7日	・コミュニティスポーツのルールブック完成	
11日	・串良小学校へ黒土祭りの売上・利益報告	串良小学校
19日	・串良中学校へ黒土祭りの売上・利益報告	串良中学校
21日	・本校定期演奏会 第7弾パン販売会	SUMOMO
1月		

12日	・ドリームカップ小学生ドッジボール大会運営 審判補助，本部連絡・点数入力	申良まちづくり戦略会議
25日	・くしら二十三や市出店 第8弾パン販売会 申良小学校・申良商業高校合同販売会	かのや市商工会 SUMOMO・申良小学校

(2) 学校間連携

ア 担当者会

(ア) 第1回担当者会

平成25年5月16日（木）申良商業高校にて，高校教育課産業教育係指導主事および本プロジェクトに関わる有明高校校長，農業科担当職員2名と本校職員8名の出席のもと，プロジェクトの概要や今後の活動内容について協議を行った。年間を通した活動計画や連携の方向性について共通理解を図ることができた。

(イ) 第2回担当者会

平成25年7月19日（金）申良商業高校にて，有明高校農業科担当職員2名と本校職員8名の出席のもと，今後の具体的な活動内容や収穫から販売する農産物について協議した。販売するイベントの確認や，販売可能な農産物の種類から数量までの確認と，連携できる具体的な内容も共通理解を図ることができた。

イ 有明高校

(ア) 商品開発における農産物の提供

生徒が考案したタルトやマフィンの材料として有明高校生が収穫したさつまいもを活用した。

また，有明高校生へ取材を行い，広告としての活用や取材内容をイベント等で展示した。



図2 有明高校への取材

(有明高校生のコメント)

僕たちが一生懸命作ったので，品質には自信があります。買ったお客さんに喜んでいただき，野菜や花が全部売ればうれしいと思います。

(イ) 販売活動における農産物の提供

有明高校生が生産，収穫した新鮮な野菜や花を「申良黒土祭り」や「くしら二十三や市」で提供した。また販売促進のためのパッケージや包装も工夫し，付加価値を付けて販売できた。



図3 店頭の有明高校農産物

(3) 学校・地域間連携

ア 学校

(ア) 申良小学校・申良中学校

- a ハイスクールスチューデントティーチャー
小学校・中学校へ出向き，アンケート調査や，



図4 アンケート調査

パソコンの授業見学を実施した中で小学生・中学生向けの授業を考えた。テキスト作成から授業内容、授業展開も生徒自身が自ら企画し、考案、完成させた。串良小学校、串良中学校へ高校生が先生役となり授業を実施した。

〈小学生対象〉

期 日：平成25年10月30日（水）
対 象：串良小学校6年生41名
場 所：串良商業高校パソコン実習室
時 間：13:45～15:35
内 容：Wordを使ったカレンダー作成
指導者：情報処理科3年生4名
 総合ビジネス科3年生1名

〈中学生対象〉

期 日：平成25年11月20日（水）
対 象：串良中学校2年生42名
場 所：串良商業高校第2パソコン室
時 間：10:50～12:45
内 容：画像編集してプリクラ作成
指導者：情報処理科3年生7名、総合ビジネス科3年生4名



図5 授業見学



図6 小学生授業風景



図7 中学生授業風景

（小学生の感想）

今日の5、6時間目はとても勉強になりました。串良商業高校に着いたら、パソコンの教科書など、いろいろ準備して下さっていました。また、出来ているか何回も確認しながら丁寧に教えて下さいました。パソコンをよく使うけど、分からないことがたくさんありました。それを知ることができて、パソコンがもっと好きになりました。次の授業が楽しみです。

b 合同販売会

ハイスクールスチューデントティーチャーで学習した知識を活かして、「串良黒土祭り」において小・中・高合同でプリクラ・カレンダー作成・販売した。また、本校で開発したオリジナルパンや有明高校農産物を販売した。販売した商品は全て完売することができた。

〈串良黒土祭り〉

期 日：平成25年11月23日（土）
参加者：串良商業16名、串良中8名、串良小28名
場 所：串良平和公園



図8 呼び込み風景



図9 カレンダー作成

時 間：9:00～15:00

販売物：串良商業オリジナルパン 500個
有明高校農産物 11品 400個
オリジナルプリクラ・カレンダー

〈串良黒土祭り利益・売上報告〉

時 期：平成25年12月11日（水）

場 所：串良小学校

時 期：平成25年12月19日（木）

場 所：串良中学校

内 容：串良黒土祭りの売上・利益の報告

仕入から売上までの流れやビジネスの仕組みを説明し，商業高校ではビジネスの一連の流れを学習することを紹介

〈くしら二十三や市〉

期 日：平成26年1月25日（土）

参加者：串良商業8名，串良小22名

場 所：串良総合支所周辺

時 間：9:00～17:00

販売物：オリジナルカレンダー，串良商業オリジナルパン 300個
有明高校農産物 16品 240個
（販売した商品は全て完売）



図10 接客風景



図11 販売前の準備



図12 小学生の接客

（小学生の感想）

今回の販売会で一番学んだことは、「責任感を持つことの大切さ」です。誰の手も借りずに子どもだけでお客さんに対応することは大変勉強になりました。また、パソコンでカレンダーを作るときも、とても責任感を感じました。これからどのような場面でも「責任感」を忘れずにやっていきたいです。「責任感」は私たちの心を変えてくれると思います。

（イ） 鹿児島大学

平成25年6月12日（水）に鹿児島大学金子満准教授による職員向けのコミュニティ，ソーシャルビジネスについての研修会を実施し，平成25年6月28日（金）に児童・生徒向けのプレゼンテーションを受講した。

テレビの「戦闘中」や「逃走中」をヒントにした知・徳・体を兼ね備えたコミュニティスポーツの創造の提案を受けた。

平成25年7月20日（土）に串良小学校6年生がキャンプを実施した祭に。鹿児島大学・串良まちづくり戦略会議と連携し，コミュニティスポーツとして考案した「陸



図13 准教授のプレゼン



図14 「陸上雪合戦」プレ

上雪合戦」や「弓当て」をプレ実践した。ルール作りや音楽の選定，審判の在り方など問題提起や検証を実施した。

平成25年8月22日(木) 串良ふれあいセンターで鹿児島大学・串良まちづくり戦略会議と連携し小学生を対象に「くしら塾」を開催した。学習の合間に「陸上雪合戦」「弓当て」を組み込みプレ実践を実施した。その後，金子准教授と検証し，指導助言を受けた。



図15 「弓当て」プレ

イ 地域

(ア) やねだん

a 「やねだん」在住アートディレクター講話

平成25年10月4日(金)に「やねだん」在住アートディレクター河野セイイチ氏によるブランディングやマーケティングについての講話を受けた。



図16 河野氏講話

b 本校マスコットキャラクターの編集

平成25年11月8日(金)全校生徒にマスコットキャラクターを募集し65通の応募があった。その中から8つを精選し，全校生徒に投票を実施し，マスコットキャラクターが決定した。決定したマスコットキャラクターを河野氏に編集していただき，本校110周年記念式典で来賓及び全校生徒に紹介した。



図17 マスコット紹介

(イ) 串良まちづくり戦略会議

a 国際交流探訪

平成25年11月30日(土)に「鹿屋市」「串良まちづくり戦略会議」「串良がんばる会」と連携し，外国人60名・鹿児島市民60名と交流会を実施した。地元伝統芸能の着物の着付けや地元串良町のお菓子やお茶を振る舞った。



図18 国際交流

b 豊栄橋イルミネーション点灯式

平成25年12月1日(日)串良町・東串良町を結ぶ豊栄橋イルミネーションを点灯する式に運営担当として参加した。イベントの手伝いやパンフレット配布，抽選会や点灯式の補助を行った。



図19 抽選会補助

c ドリームカップ小学生ドッジボール大会

平成26年1月12日(日)に「串良まちづくり戦略会議」が主催の本大会に運営として参加。点数付けや本部への連絡，点数入力や運営補助を行った。



図20 運営補助

(ウ) SUMOMO (パン製造販売業)

a 協力依頼と新商品プレゼンテーション

平成25年6月8日(土)に商品開発の協力依頼,概要の説明を行った。6月14日(金)にオーナーの須百氏が来校し,新商品のプレゼンテーションを実施した。8月1日(木)に再び来校いただき,売りたい商品から買いたい商品への新商品企画を再考案した。



図21 校内プレ販売

b パン製造指導とプレ販売会

平成25年6月27日(木)第1回パン製造指導を受け翌日の校内プレ販売会で102個が5分で完売した。7月10日(水)第2回パン製造指導を受け,地区PTAで販売し87個が10分で完売した。



図22 試作品製造

c 新商品試作品製造, 検証と新商品完成

平成25年 8月17日(土) 第1回試作品製造, 検証
平成25年 8月29日(木) 第2回試作品製造, 検証
平成25年 9月20日(金) 第3回試作品製造, 検証
平成25年10月4日(金) 第4回試作品製造, 検証
平成25年10月11日(金) 第5回試作品製造, 検証
平成25年10月18日(金) 第6回試作品製造, 検証
平成25年10月25日(金) 4種類の新商品開発
(ピーマドレーヌ・ピーマフィン・ピーパンの肉詰め・ピーワッサンの4種類) 販売価格の決定



図23 新商品完成

d 新商品の販売会

平成25年11月1日(金) 本校文化祭 110個完売
平成25年11月3日(日) 指商デパート 375個完売
平成25年11月9日(土) かのやバラ祭り 120個完売
平成25年11月22日(金) 地区フェスタ 100個完売
平成25年11月23日(土) 串良黒土祭り 500個完売
平成25年11月24日(日) かのや秋祭り 200個完売
平成25年12月21日(土) 定期演奏会 120個完売
平成26年1月25日(土) 二十三や市 300個完売



図24 指商デパート



図25 串良黒土祭り



図26 二十三や市

(ハイスクールスチューデントティーチャーに取り組んだ生徒の感想)

始まった当初は,自分たちで授業の内容からテキスト作成,授業までするのは無理だろうと思っていた。しかし,みんなや先生方と協力し,先生方から参考資料をいただいたり,授業の練習での指導やアドバイスをいただき,小学生や中学生に授業ができるまで完成することができた。何事も諦めず協力して取り組めば成功するという大きな経験をする事ができた。今後の生活や仕事でも初めてのことで諦めずに挑んでいけると思った。

(商品開発に取り組んだ生徒の感想)

私はこれまで検定に受かるために簿記を頑張ってきましたが実際はよく分かっていませんでした。今回、自分たちで考えた商品を販売することになり、製造から販売までの一連の流れを実際に経験したことで、簿記の仕組みや必要性がよく分かりました。また、自分たちが考えたものが実際に形になり、それを商品として売り出すことは誰でも経験することではないし、それが利益を生んだということも貴重な経験だと思いました。

5 成果と課題

(1) 成果

ア 学校間連携

有明高校との連携により、流通ビジネスの6次産業化を目指し、地域貢献活動だけでなく、学校間の連携を深めることができた。

イ 学校・地域間連携

(ア) 学校

a 鹿児島大学

地域課題の解決に向けての取組や実践を学び、地域の現状に目を向け積極的な行動力と実践力が身に付いた。

b 串良小学校・串良中学校

小中高連携を通じた地域活性化に貢献でき、実践的な責任感によって、職業観の醸成を図れた。また、児童・生徒に高校生が教える行為から学習意欲の喚起、人に教える大変さや教師という職業理解につながった。一つの商品を販売する大変さ、販売時の嬉しさを知った。

(イ) 地域

- ・ 地域の各機関との間に協力体制を構築でき、生徒自身の地域のためという奉仕の精神が養われ、生徒・教員・地域が一緒になった活動によって一体感が生まれ、充実感や達成感を味わった。
- ・ 企画-生産-製造-販売を通して、商業教育の意義を感じ、生徒自らが考えたアイデアを積極的に提案するようになり、相手に分かるように伝えようとするプレゼン能力が身に付いた。また、幅広い年齢層と接することにより、コミュニケーション力を高めた。

(2) 課題

今回の活動は3年生中心で活動してきた。対外的な活動が多く、進路決定の際や自らを深く考えられるため、継続・発展させるためにも全学年で取り組む体制作りを図る必要がある。

ア 学校間連携

生産と消費の需要と供給に隔たりがあるため、調整が困難であり、

生産者のPR活動や商品知識をもっと積極的にする必要がある。

イ 学校・地域間連携

- ・ 取組に対しての児童・生徒へのアンケート調査を行ったが、改善点の把握・実践までできておらず、今後継続した取組が必要である。
- ・ 販売に関して商品知識の把握，ビジネスマナー研修の充実が必要であり，生徒が中心となった企画から販売までの体制を整えたい。

ウ 高大連携

- ・ 教授や大学生と連携した活動を計画し，知識の向上や地域発展のための活動を生徒自ら発案し，実践できる体制と連携が必要である。

6 連携一覧

No.	事業所名，学校名等	所在地	主な内容
(1)	有明高校	大崎町	・ 農産物提供 ・ パッケージ作成
(2)	串良中学校	鹿屋市	・ ハイスクールスチューデントティーチャー ・ 合同販売会
(3)	串良小学校	鹿屋市	・ ハイスクールスチューデントティーチャー ・ 合同販売会 ・ コミュニティスポーツ実践
(4)	鹿児島大学	鹿児島市	・ 講師 ・ コミュニティスポーツの研修・検証・助言
(5)	串良まちづくり戦略会議	鹿屋市	・ コミュニティスポーツ実践 ・ 国際交流事業 ・ 豊栄橋イルミネーション点灯式 ・ ドッジボール大会主催
(6)	串良がんばる会	鹿屋市	・ 国際交流事業
(7)	やねだん	鹿屋市	・ 講師 ・ パッケージ作成 ・ キャラクター作成
(8)	SUMOMO	志布志市	・ 商品開発の指導
(9)	鹿屋市役所串良総合支所	鹿屋市	・ 農産物販売
(10)	JA鹿児島きもつき串良支所	鹿屋市	・ 串良黒土祭り
(11)	かのや市商工会	鹿屋市	・ 串良二十三や市

串良商高発。パン

鹿屋市串良の串良商業高校生が、同市や志布志市などでパン菓子を製造販売する「SUMOMO」と連携し、地元の特産品や大崎町の有明高校の農産物を使ったオリジナルのパン開発に取り組んでいる。串良商業高の生徒は、11月の一般販売開始に向け、志布志市の同店で試作を重ねている。

来月から一般販売



ピーマンや芋活用

同校が地域と連携し、活性化を図る「大隅コミュニティプロジェクト」の一環。県からかこしま専門高校バリエーションプロジェクトに指定されている。生徒8人は8月上旬、オリジナルのパンのアイデアを練って、企画書を提出。同店の須百久史代表(49)の協力を得て、各自のアイデアを形にした。串良特産のピーマンを練り込んだ生地に入肉詰めするなど、多彩だったという。

これまでに10種類以上を試作した。7種類程度に絞り、11月1日の同校文化祭や同3日に指宿商業高校である「指商デパート」、同9日のかやばら祭りのなごに出品する予定。

須百久史さんの指導で菓子作りに挑む串良商業高校の生徒ら。志布志市志布志町志布志

10月11日は生徒2人が同店で、有明高校の生徒が生産したサツマイモを使って、スイートポテトやタルトを作った。今後、完成したパンの原価計算などをして値段設定なども学ぶ。

須百さんは「飾り気のない素直なお菓子ができていて、若い感性が新鮮。手応えがあるので今後の展開が楽しみです」。串良商業高3年の城戸亜希歩さん(17)、瀬下千宏さん(18)は「素材を生かしたスイーツができた。完全を目指して頑張る」と話した。(上山智子)

カレンダーを手作りし販売

串良小生、商高生に学ぶ

鹿屋市の串良小学校の児童30人が23日、同市串良平和公園であつた収穫祭「くしろ果士祭り」で、来場者の写した写真を使い、オリジナルカレンダーを手作りして販売した。児童は「いらっしやいませ」と大きな声で呼び込み、写真を撮った。児童は高校生から作り方を学び、パソコンを使って手早くカレンダーに任じた。

串良小6年の本田君(12)は「難しかったけど、高校生のお兄さんが分かりやすく教えてくれた。とても楽しかったと話した。取りながあり、約1万3千人にきわった。」「串良小の生徒とカレンダーを製作する串良小学校の児童。鹿屋市の串良平和公園」



串良商業高校の生徒とカレンダーを製作する串良小学校の児童。鹿屋市の串良平和公園